

# 町の鳥エトピリカ保護のお願い

## 海鳥と共生できる里海づくりを目指しています

小島および霧多布岬近海において、海上デコイによるエトピリカ誘致が行われていますが、今年は環境省が製作する、より自然な形の新型海上デコイも投入されます。

一昨年まで、小島に連続十五年来ていた繁殖ペアは、残念ながら昨年は飛来しませんでした。推定でも十八歳以上だったので、寿命だったのかもしれませんが、若鳥がまだ五羽は飛来していますので、次の繁殖ペアの出現が待ち望まれます。

同じ仲間でもやはり絶滅の心配されているケイマフりは、一昨年同様三組の繁殖でしたが、総数としては近年最大の十八羽が見られました。

また、一昨年初めて誘致活動が行われた霧多布岬では、設置された海上デコイに寄り添うように浮く一羽が観察されたほか、海上デコイの上を飛ぶものや、旧繁殖地の通称ピリカ岩上空を通過するのが数回見られました。このことから、霧多布岬でも十分に期待がもてるのが分かりました。またこちらでもケイマフリ三羽が見られ、ピリカ岩での繁殖復活が期待されています。

エトピリカ以外の海鳥が増えることは、エトピリカにもいい影響を与えるはずですが、そうした観点から、今後ケイマフリの海上デコイ製作も考えています。

今年も、漁業者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、海鳥の住む里海復活のためにご協力をお願いいたします。

### ◆小島海域でのカレイ刺し網禁止と各種刺し網自粛のお願い

小島の地図参照区域は、環境省と浜中漁業協同組合の協定によりカレイ網が九月いっぱいまで禁止されています。また、他の各種刺し網も自粛をお願いいたします。特に小島近くは、エトピリカ混獲の恐れがありますので、網を入れないようご協力をお願いいたします。この期間中には漁協により定期的にパトロールが行われます。

### ◆小島は上陸禁止になっています

小島はエトピリカ保護のため、地主である川村康造さん(霧多布)のご協力により上陸禁止となっております。

います。保護増殖事業以外の目的での上陸はできません。

### ◆船自粛のお願い

エトピリカの見物や、写真撮影目的の依頼による船は出さないようお願いします。追い回すことにより、生息に悪影響を及ぼす恐れがあります。

### ◆エトピリカを保護したときは

海上などで弱ったり、死亡した個体を回収したときは教育委員会までお知らせください。弱った個体は、治療リハビリ後に放鳥しています。また死亡個体は貴重な資料としていきます。

●問い合わせ先  
教育委員会 生涯学習課 社会教育係  
☎62-2394

